

授業科目名	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（基礎）(45102)		
時間割担当	金山憲正		
実施期	通年	単位数	4 選択
曜日・時限	木・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、診断的評価についての理解を深めることを主なねらいとします。具体的な学習内容として、知識・技能および数学的な考えの内容及びシステムを整理するとともに、それらを基にして評価問題を作成します。さらに作成した評価問題で調査した結果を分析して、それを反映させた望ましい指導のあり方を追究していきます。

学習の到達目標

指導内容ごとに評価の観点に即した評価問題を作成すると共に、診断的評価の結果を生かした指導案を作成し、それに基づいた実践授業を通して診断的評価の一連の流れとねらいについて理解する。

授業方法・形式

少人数でのグループディスカッションを主として行います。その他、指導法や児童理解について学ぶため教育現場へ出かけて授業参観の機会もできるだけ設けるようにします。

授業計画

前期

- 第1回 研究テーマと研究の進め方の確認
- 第2回～第5回 数学的な考え方についての整理
- 第6回～第9回 科書分析と過去の診断問題の分析
- 第10回～第13回 1学年全単元の問題作成と検討
- 第14回 解答と出題のねらいについて整備
- 第15回 前期のまとめと後期の研究計画

後期

- 第1回 採点をし正答率を出す
- 第2回～第5回 誤答分析をし誤答の傾向をとらえる
- 第6回～第8回 誤答を予防する指導の留意点を検討
- 第9回～第10回 望ましい指導を目指した指導案作成
- 第11回 実践授業を行う
- 第12回 実践授業の結果について分析
- 第13回 実践授業記録を作成
- 第14回 改善指導案の作成
- 第15回 1年間のまとめ

成績評価の基準

数学的な考え方を分析し各指導内容ごとに適切な評価問題を作ることが出来る。

評価問題の結果を分析し、誤答の傾向と指導にあたっての留意点をとらえることができる。

つまづきを予防するための指導の工夫を施した学習指導案を作成し、実践を通して検証することができる。

などを総合的に判断して評価する。

授業時間外の課題

その都度提示します。

メッセージ

評価は子どものランクづけをするためのものではなく、指導者が自分自身の指導を振り返ると共に充実した学習指導を創造していくためのものであることを理解してください。つまり、評価によって指導内容のねらいや児童の実態をより深く理解し、充実した学習指導が進められるものであるということを学んでください。

教材・教科書

算数教育指導用語辞典

参考書

その都度紹介します。